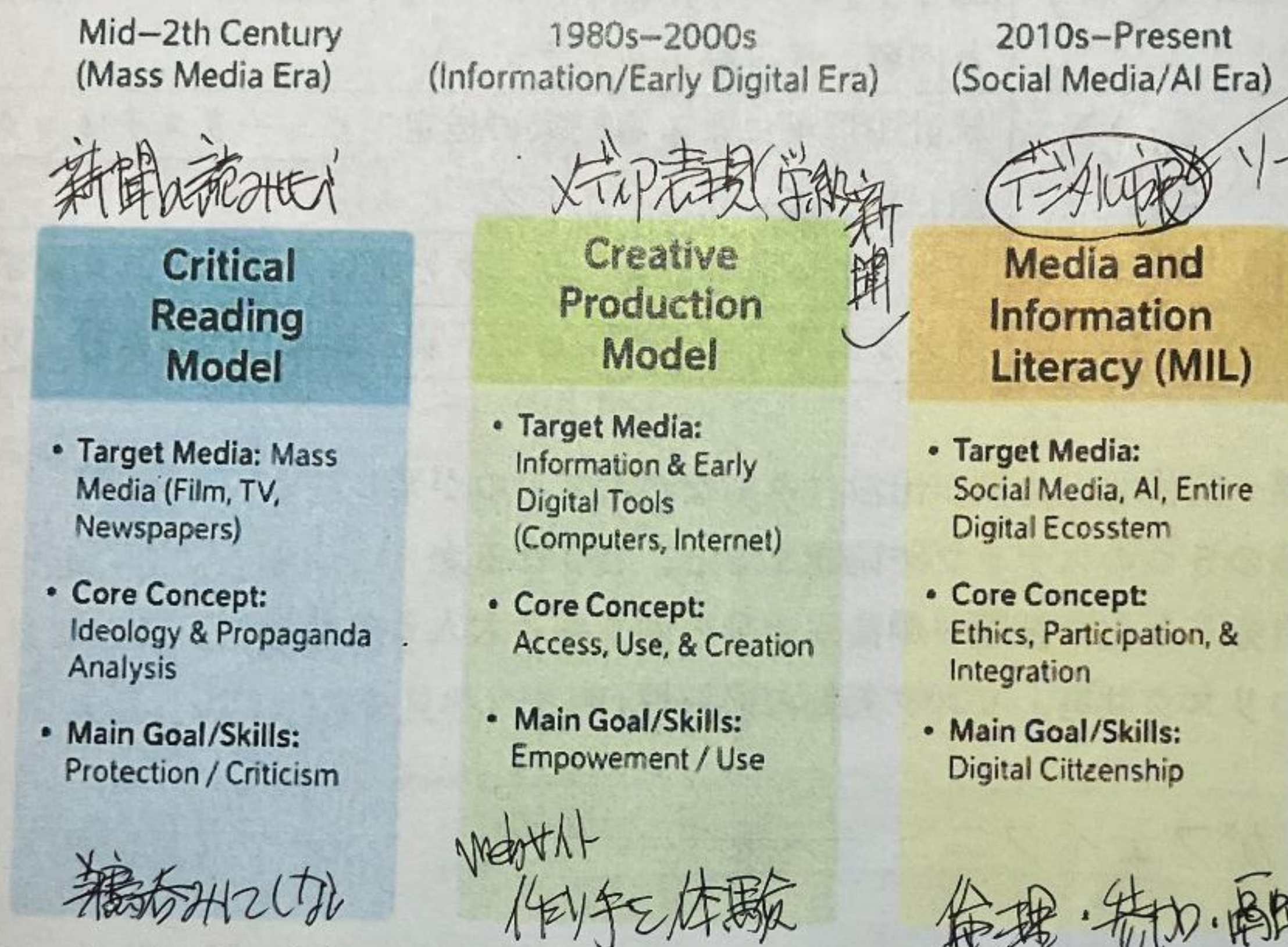


SNS 時代のメディアリテラシー

匹田 篤：広島大学大学院人間社会科学研究科・総合科学部

1. メディアリテラシーの変遷～SNS 時代のリテラシーを概観する

マスメディアの時代：新聞の読み比べなどで、クリティカルな受け手を育成
 初期のデジタル時代：メディア表現で、デジタル技術の活用を推進
 SNS の時代：情報倫理、参加、融合などを基にデジタル市民を育成



(出典：Google Gemini を用いて匹田が作成)

2. フェイクニュースというリスクとの向き合い方を考える

フェイクニュースを分類してみる (フェイクニュースの種類はたくさんある)

事実ではないと知りながら伝えている	虚偽
真実ではあるけれど、本質を伝えていない	ミスリード
真実かわからないが、本質っぽい	根拠不明
みんながなんとなく信じている	同調圧力
みんな冗談だときっと思ってくれる	ミスコミュニケーション

- 虚偽だけを教えても、問題は解決しない
- 特にミスリード、ミスコミュニケーションへの教育も必要

わかり合えない！ エゴ中心

例) ネットの書き込みは偏ったという物
 <課題> ネットの「みんな」が誰のこと?
 <質問1> 知らず「みんな」は何人からできているか?
 <質問2> ネットの「みんな」は誰と誰とつながっているか?

実はネットの「みんな」とは、わかり合えない
 ↓
 ネットは偏ったもの
 偏った書き込み

受け手が「情報」の意味を求め

スウェット・ホール(1980) エンド・オブ・ザ・ワールド

ほめたいものは、手になる

＜課題＞
＜質問1＞
＜質問2＞

どんな言葉があるのか？
村田さん

「フェイクかどうかの議論は、受け手にとって本質かどうかという視点が抜けている

フェイクかどうかの議論は、送り手の意図を受け手が読み取る洞察力

表現されたものから、意図を読み解く（読書感想文）

（新聞の読み比べは本来こうであった：第一世代のメディアリテラシーへの回帰も必要）

3. リスクを伝える：リスク認識の5段階

防災意識

表：市民にとってのリスク認識のプロセス（楠見 2005 を基に匹田が作成）

段階	内容
リスクの同定	リスクの存在の認識、楽観主義バイアス
リスクイメージの形成	嫌なイメージ、未知性のイメージ、恐怖イメージ（報道の頻度と内容、読み解くリテラシー）
リスクの推定	統計や理論による専門家の推定、ヒューリスティック（直感的）な推定、認知バイアス
リスクの評価	リスクの受容可能性、リスクと便益、ゼロリスク要求
リスクコントロール	リスクコミュニケーション、安全教育、防災教育、保険加入

双方向が得意な領域

自分たちは大士未と使う
認知バイアス

外部には
早くに決まらう！
という
部分...

笑えない冗談～安佐北区に熊が出没（みんなが慌てるのが楽しいという問題）

- ・リスク認識の5つのステップで確認すると、どうなるか
- ・リスクの自分ごと化の課題～中高生の身の回り感と大人との差異（身の回りのリスク共有、リスク発掘の必要性）

4. 私たちがフェイクニュースをつくる？

ミスリードのメカニズム＝受けるところをつまみ喰い（取り取り）

“私たち”の書き込みは公平中立ではない

（マスメディアが、公平中立でないと感じるからオールドメディアと揶揄される。スポンサーだけの問題ではなさそう。マスメディアの焦り）

クリティカルに読み解くことがますます重要になる

「クリティカル＝批判的」ではなく「クリティカル＝鵜呑みにしない」

（どう教えたら良いのか、新聞の読み比べでは足りない）

- ・アテンションエコノミーと、公平中立のためのバランス感覚（会話は対話）
- ・自分も送り手であり、参加していること

よりどころ
→ 信頼できるメディアが必要

フェイクニュースだけで良いのか？態度形成

- ・ SNS シミュレータの結果・過信への気づきと態度形成
- ・ 態度形成している人の分析結果～フェイクニュースではない記事への反応

SNS シミュレータを用いた実験の紹介

10 の記事について、シェアするかしないか、どれだけ信頼できるかを入力してもらった。

SNS シミュレータを体験する前と後とでの、「記事の解釈」の比較。

横軸は、体験前の「解釈の自信 (1~10)」

縦軸は、体験後と体験前の自身の差。

縦軸がマイナスということは、自信が低下したことを意味している。

特に高い自信を持っていた層は 144 人中 65 人おり、そのうちの 2/3 以上が自信が低下していた。(態度形成といえよう)

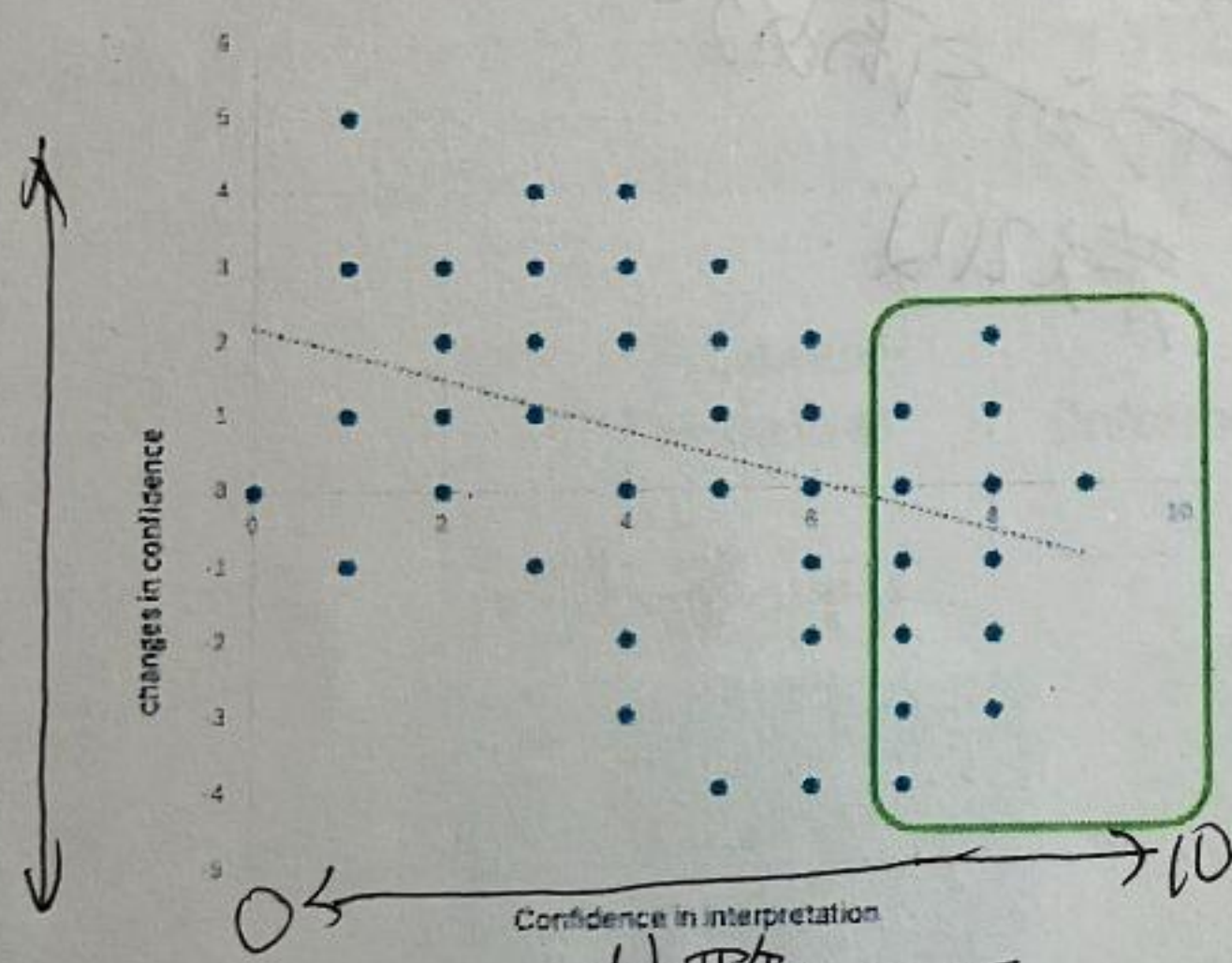


Fig. 1. Confidence in interpretation and changes in confidence (N=144)

実験前に高い自信を持っていた 65 人は、全体と比較すると、フェイクニュースを見極める能力には差がなく、フェイクニュースではない記事を積極的にシェアすることに差が見られる。(フェイクニュースを見極める練習だけでは態度形成には不十分)

Table 2. Correlations between Specificity, sensitivity and confidence

			all (n=145)	Confidence[7,10] (n=65)
Fake news only	Sensitivity(Post) and confidence		0.00	-
Not Fake news	Specificity(Post) and confidence		-0.04	-
Fake news only	Sensitivity(Post) and change in confidence		-0.05	0.09
Not Fake news	Specificity(Post) and confidence change		-0.17	-0.27**

生成 AI のリスクとは

- ・ AI 依存、AI はフェイク？ (新しいサービスを冷やかしながら使う時代)
 - ・ 生成 AI のリスク (Over-reliance, Uncritical acceptance, Bias) + クリエイティブの危機
- == 「生成 AI の出力にこれでいいや」と受け入れてしまうリスク

「得たい情報、作りたいものを明確にする能力」

「クリティカルに読み解く能力 + 表現技法への理解」

受け手は「情報」の意味を汲み取.

自己主張する人

と

反対.

フィルターバブル

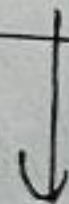
エコーチェンバー

アテンション/エロピー

~~落合小中学校~~

小学校 カードゲーム

教育の組織



学校を脱行し人

ゲームの面白さを
行方不明にする
教える.